

田原市児童福祉施設長寿命化計画

(個別施設計画)

施設類型：6 児童福祉施設

令和 3 年 3 月

子育て支援課・親子交流館

目 次

1 背景・目的等	1
(1) 背景と目的	1
(2) 計画の位置づけ	2
(3) 計画期間	2
(4) 対象施設	3
2 施設の実態	4
(1) 施設の概要	4
ア 位置図	4
イ 利用状況	5
ウ 運営状況	12
(2) 施設の将来の必要コスト	21
ア 将来の更新コスト	21
イ 将来の維持管理コスト	23
ウ 将来必要となる施設のコスト	24
(3) 施設の老朽化状況	25
ア 構造躯体以外の劣化状況等の評価	25
(4) 施設評価	27
ア 1人当たりにかかるコスト	27
イ 床面積1㎡当たりにかかるコスト	28
ウ 施設健全度	28
3 対策の優先順位の考え方	29
(1) 施設の状態	29
(2) 施設が果たしている役割等	29
(3) 施設整備の基本的な方針	30
ア 施設の規模・配置等の方針	30
イ 今後の方向性	30
(4) 改修等の基本的な方針	31
ア 施設の目標使用年数、改修周期の設定等	31
イ 長寿命化の方針	32
ウ 予防保全の方針	33
(5) 対策内容と実施時期	35
(6) 長寿命化の方針に伴うコストの見通し、効果	39
4 計画の推進	40
(1) 推進体制等の整備	40
(2) フォローアップの体制	40

1 背景・目的等

(1) 背景と目的

田原市は、平成 15 年及び平成 17 年の 2 度の合併を経て、渥美半島の大半を占めることとなり、県内 7 位となる 191.11 k m²に及ぶ市の区域内には、旧町ごとに使用していた庁舎や文化ホール等、多種多様な施設が整備されています。

その中には、目的が重複しているもの、市民ニーズの多様化や社会環境の変化によって利用率が低下しているものもあり、また、本市が保有する施設は昭和 50 年代に整備されたものが多く、今後、一定期間に大規模改修や建替えが集中することが予測されています。

そのため、田原市では、公共施設の設置目的や利用実態、コストなどの現状を分かりやすく「見える化」し、広く市民に知ってもらう啓発資料とするため、平成 26 年 2 月に「田原市公共施設白書」を取りまとめるとともに、同年 12 月には、将来にわたって持続的に公共サービスを提供していくため、本市の公共施設のあり方の基本的な考え方を取りまとめた「田原市公共施設適正化計画（平成 30 年 12 月廃止）」を策定しました。

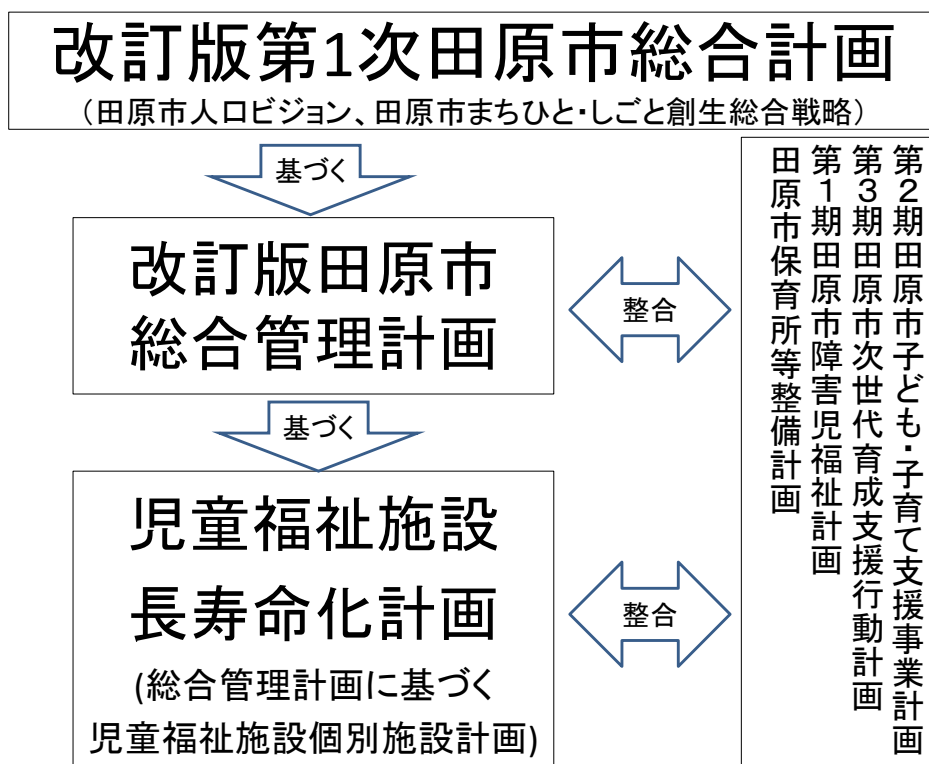
国においても、厳しい財政状況や人口減少などの状況を踏まえ、地方公共団体が公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置などの実現を推進するため、全国の地方公共団体に対し、公共施設等総合管理計画の策定を要請し、田原市では、平成 28 年 2 月、道路や下水道などインフラ施設を含めた「田原市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を取りまとめました。（平成 30 年 12 月改定）

また、核家族数の増加による子育ての孤立感と負担感の増加や子どもの貧困問題など、子育て世代を取り巻く社会情勢は厳しいものとなっています。共働き世帯や核家族の増加などによる、低年齢児の入所希望者の増加や保育等の子育て支援サービスのニーズは多様化しており、子育て支援に対する課題は多くなってきています。これらの課題に対応していくため、保育所等に関わる様々な施策の推進及び子育て支援施策の充実に向けた取組を計画的・具体的に進め、全ての子どもの健やかな育ちを実現するための環境を整備することを目的として「第 2 期田原市子ども・子育て支援事業計」「第 3 期田原市次世代育成支援行動計画」を策定しました。

このような状況を踏まえ、厳しい財政状況の中で保育所をはじめとした児童福祉施設の運営の効率を上げながら新しい保育や子育て支援サービスのニーズに対応していくこととし、令和 2 年 6 月に「田原市児童福祉施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）」を策定しました。本計画は、田原市の保育所等の整備・更新・改修及び維持保全の中長期的な計画の策定により財政負担の縮減・平準化を図りながら、安全・安心な保育環境を継続的に確保することを目的とします。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、総合管理計画に基づき子育て支援課及び親子交流館が所管する児童福祉施設の維持管理及び更新等に係る中長期的な取組の方向性を明らかにする計画であり、総合管理計画に基づく児童福祉施設の個別施設計画として位置付けるものです。また、「田原市子ども・子育て支援事業計画」、「田原市次世代育成支援行動計画」、「田原市障害児福祉計画」など児童福祉に関する計画と整合性を保って作成したものです。



(3) 計画期間

総合管理計画の計画期間は、平成 30 年度から令和 19 年度までの 20 年間を計画期間としていることから、本計画の計画期間を、令和 3 年度から令和 19 年度までの 17 年間とします。

ただし、社会情勢の変化や国・県の補助制度の変更、各施設の点検結果、劣化状況に応じて適宜見直しを図ります。

(4) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画で個別施設計画を策定するとした施設のうち、令和元年度末までに解体及び譲渡した施設を除き、令和元年度に開設した田原市親子交流館を加えた以下の施設とします。

対象施設

施設 I D	施設名	床面積 (㎡)	建築年度	構造	階数	経過年数
16	第一保育園	1,304.79	S59	鉄筋コンクリート造	2	36
17	野田保育園	940.88	S51	鉄骨造	1	44
18	六連保育園	764.82	S61	鉄筋コンクリート造	1	34
19	東部保育園	868.32	S50	鉄骨造	1	45
20	中部保育園	1,264.80	S53	鉄筋コンクリート造	2	42
21	田原市児童発達支援センター分館	1,273.52	S54	鉄筋コンクリート造	2	41
22	神戸保育園	794.93	S49	鉄骨造	1	46
23	大草保育園	700.10	S52	鉄骨造	1	43
25	高松保育園	676.09	S55	鉄筋コンクリート造	1	40
26	赤羽根保育園	675.36	S55	鉄筋コンクリート造	1	40
27	若戸保育園	666.24	S55	鉄筋コンクリート造	1	40
28	泉保育園	1,371.38	S55	鉄骨造	1	40
29	清田保育園	1,080.95	S54	鉄骨造	1	41
30	福江保育園	1,464.91	S53	鉄骨造	1	42
31	中山保育園	1,029.56	S56	鉄筋コンクリート造	2	39
32	小中山保育園	2,084.92	S52	鉄骨造	1	43
33	伊良湖岬保育園	1,785.88	H18	鉄筋コンクリート造	1	14
35	田原児童センター	497.29	H14	鉄筋コンクリート造	1	18
146	田原市児童発達支援センター	725.00	S52	鉄骨造	1	43
286	稲場保育園	1,431.98	H26	木造	1	6
375	田原市親子交流館	1,480.17	H30	鉄骨造	2	2
合計		22,881.89				

※経過年数は、令和 3 年 3 月末時点

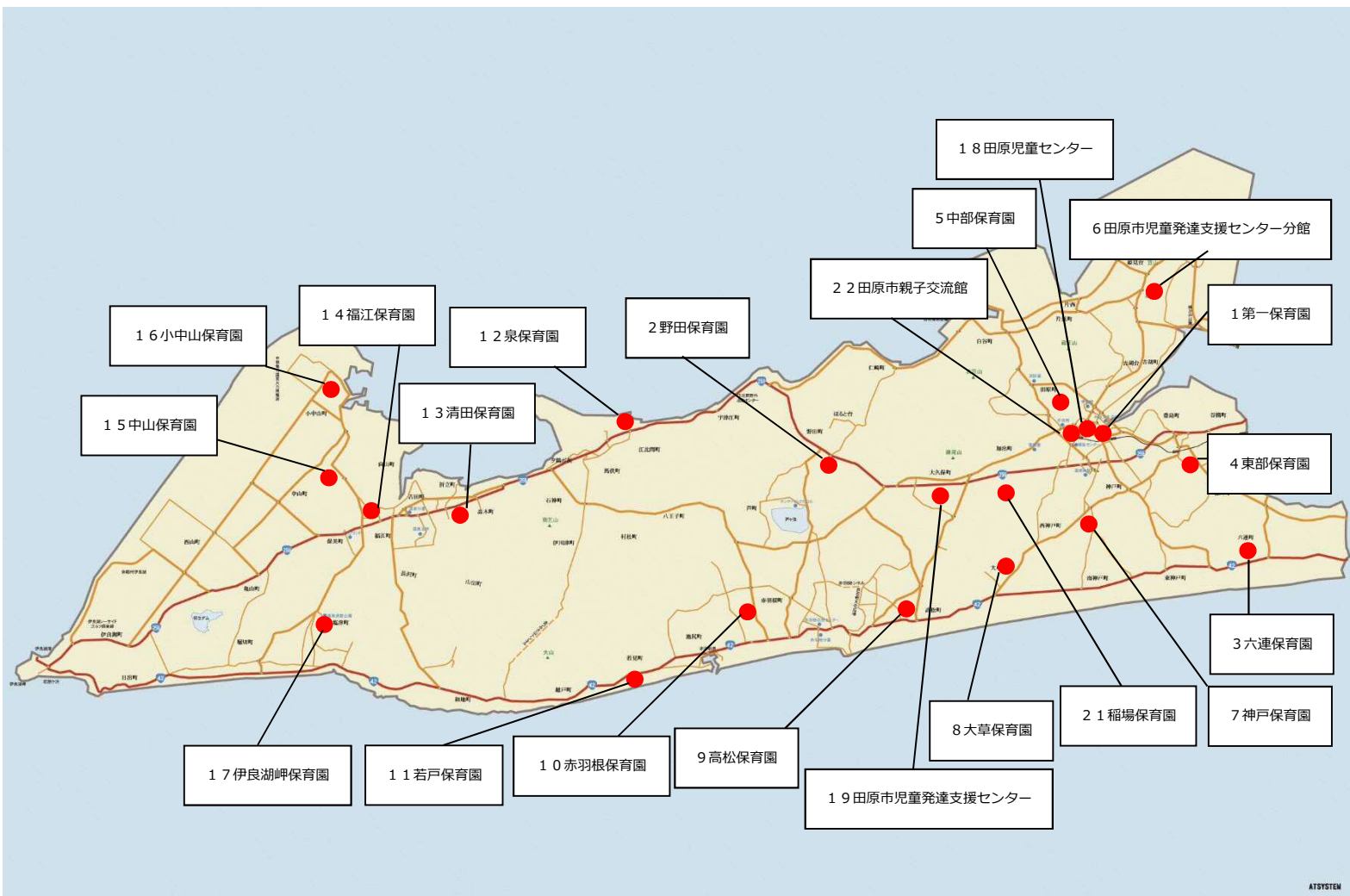
※施設 I Dは「資産経営システム」の登録番号を指します

※令和 3 年 4 月から、旧北部保育園は田原市児童発達支援センター分館に、田原児童センター分館(旧南部保育園)は田原市児童発達支援センターに変更

2 施設の実態

(1) 施設の概要

ア 位置図



イ 利用状況

■就学前人口の推移と公立保育園児(保育認定児童)数の推移

就学前人口は年々減少の傾向となっていますが、保育園の利用人数は増加の傾向となっています。保育所の入園児童は3歳未満の低年齢児の割合は年々高くなっており、共働き世帯や核家族の増加により低年齢児の保育ニーズは今後も高まっていくことが予想されます。

就学前人口の推移

単位（人）

年 度	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計
平成 27 年度	498	530	560	566	545	542	3,241
平成 28 年度	506	500	536	556	563	535	3,196
平成 29 年度	464	517	509	544	552	557	3,143
平成 30 年度	443	483	517	515	543	552	3,053
令和元年度	410	450	480	523	515	550	2,928

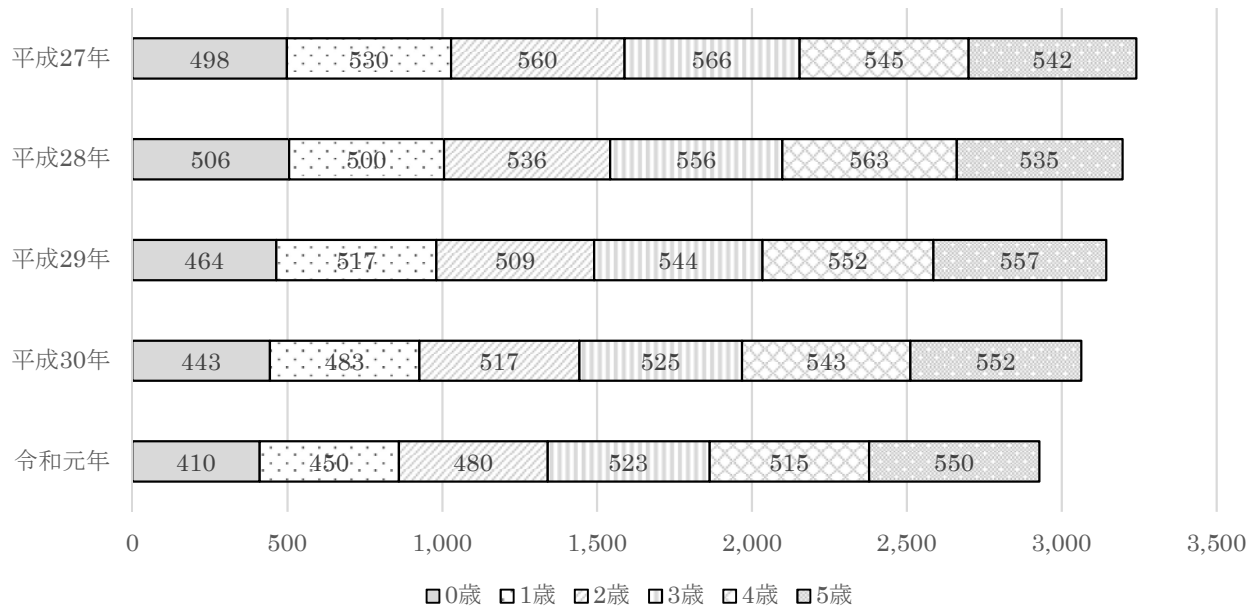
資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

公立保育園入所保育認定児童数の推移

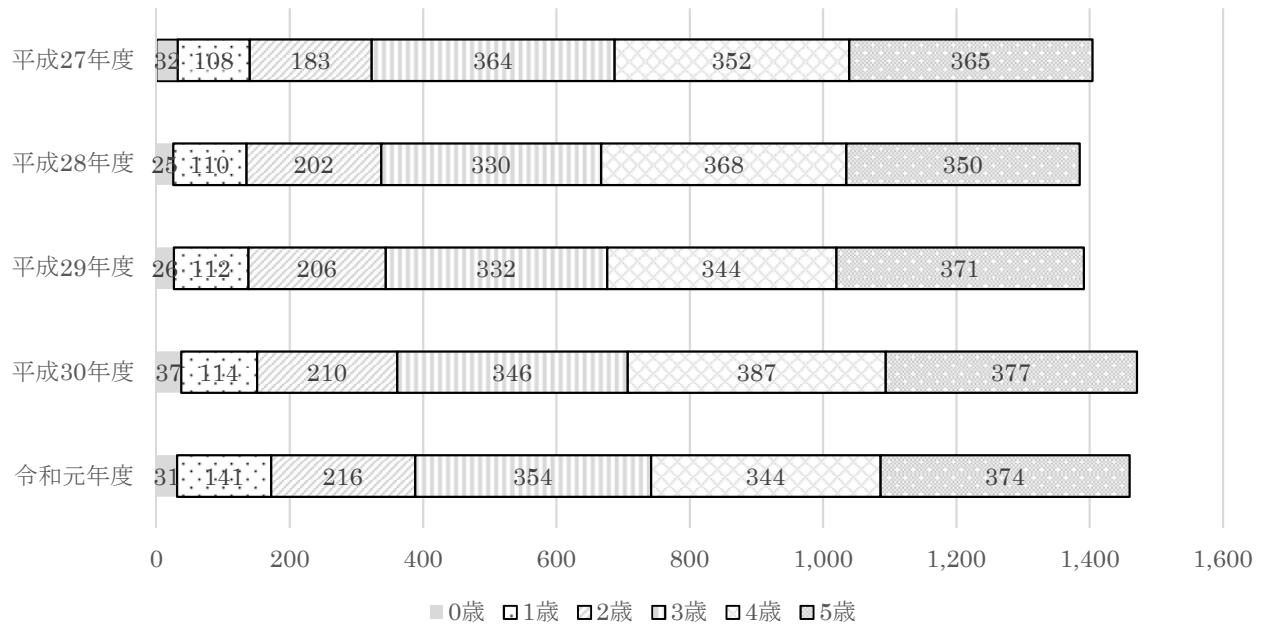
年 度	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計
平成 27 年度	32	108	183	364	352	365	1404
平成 28 年度	25	110	202	330	368	350	1385
平成 29 年度	26	112	206	332	344	371	1391
平成 30 年度	37	114	210	346	387	377	1471
令和元年度	31	141	216	354	344	374	1460

（各年度 3 月 1 日現在）

就学前人口の推移



公立保育園児(保育認定児童)数の推移



■施設別の利用状況

市内の保育園では、3歳以上の園児数が50人以下の小規模園が増える一方で、10ヶ月から受け入れをする乳児保育及び開所時間が11時間以上の保育標準時間対応の保育園は、入園希望者数が増加の傾向にあります。今後もこの傾向は続くと想定されています。

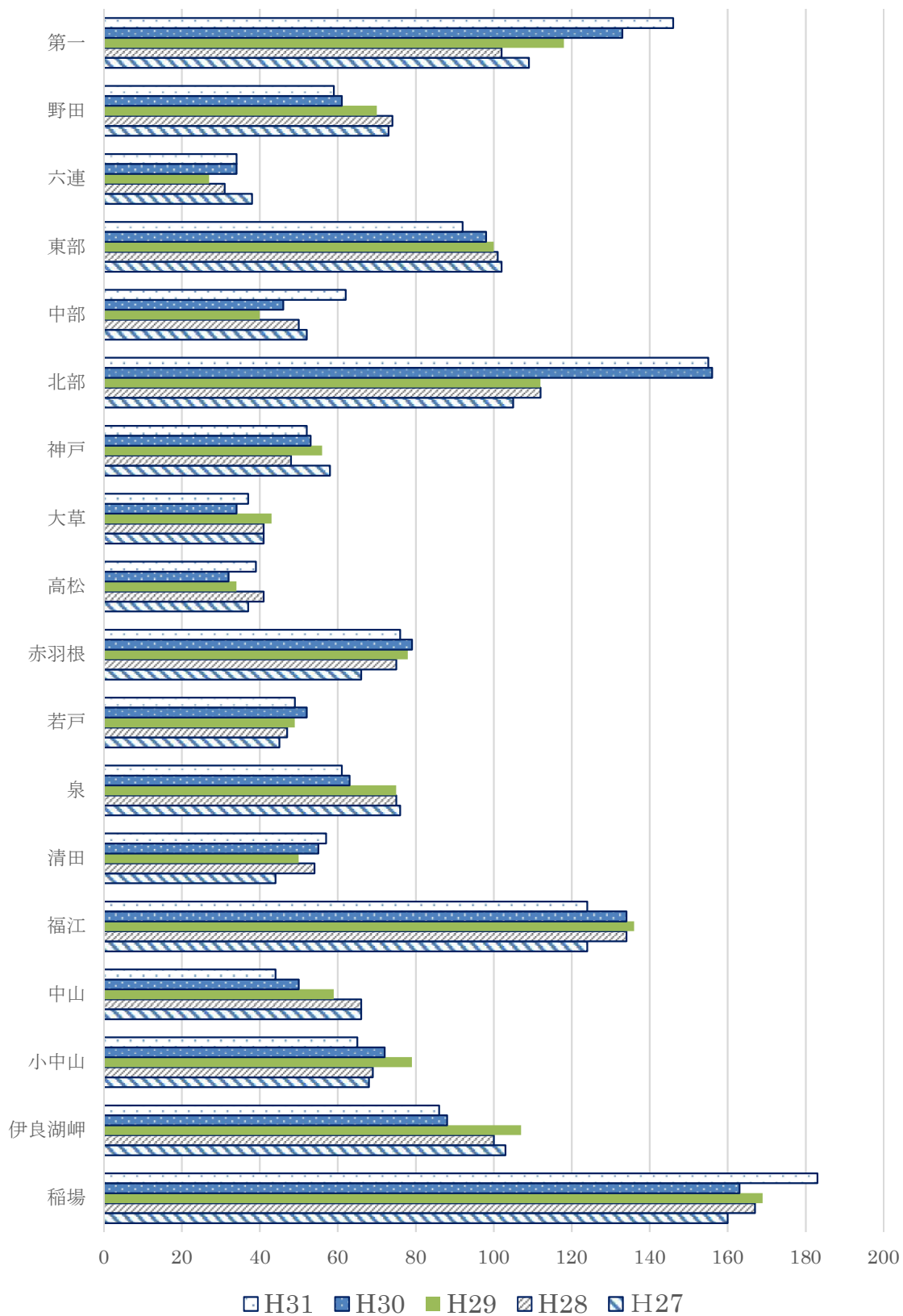
入所児童数※()内は3歳以上の園児数

単位(人)

保育園名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年平均
第一保育園 乳児・標準受入	109(78)	102(65)	118(76)	133(82)	146(106)	122
野田保育園	73(65)	74(60)	70(58)	61(46)	59(49)	67
六連保育園	38(31)	31(24)	27(23)	34(26)	34(25)	33
東部保育園	102(84)	101(85)	100(88)	98(83)	92(75)	99
中部保育園 標準受入	52(39)	50(37)	40(35)	46(39)	62(47)	50
北部保育園 標準受入	105(84)	112(86)	112(94)	156(126)	155(126)	128
神戸保育園 標準受入	58(47)	48(43)	56(45)	53(42)	52(37)	53
大草保育園	41(35)	41(33)	43(33)	34(29)	37(29)	39
高松保育園	37(32)	41(33)	34(29)	32(29)	39(33)	37
赤羽根保育園 乳児・標準受入	66(55)	75(62)	78(66)	79(61)	76(60)	75
若戸保育園	45(37)	47(44)	49(43)	52(43)	49(41)	48
泉保育園	76(62)	75(64)	75(62)	63(54)	61(53)	70
清田保育園	44(36)	54(45)	50(37)	55(46)	57(38)	52
福江保育園 乳児・標準受入	124(98)	134(98)	136(100)	134(103)	124(92)	130
中山保育園	66(55)	66(53)	59(48)	50(43)	44(35)	57
小中山保育園	68(62)	69(62)	79(64)	72(63)	65(58)	71
伊良湖岬保育園 乳児・標準受入	103(84)	100(79)	107(84)	88(69)	86(70)	97
稲場保育園 乳児・標準受入	160(124)	167(129)	169(129)	163(125)	183(130)	168

(各年度4月1日現在)

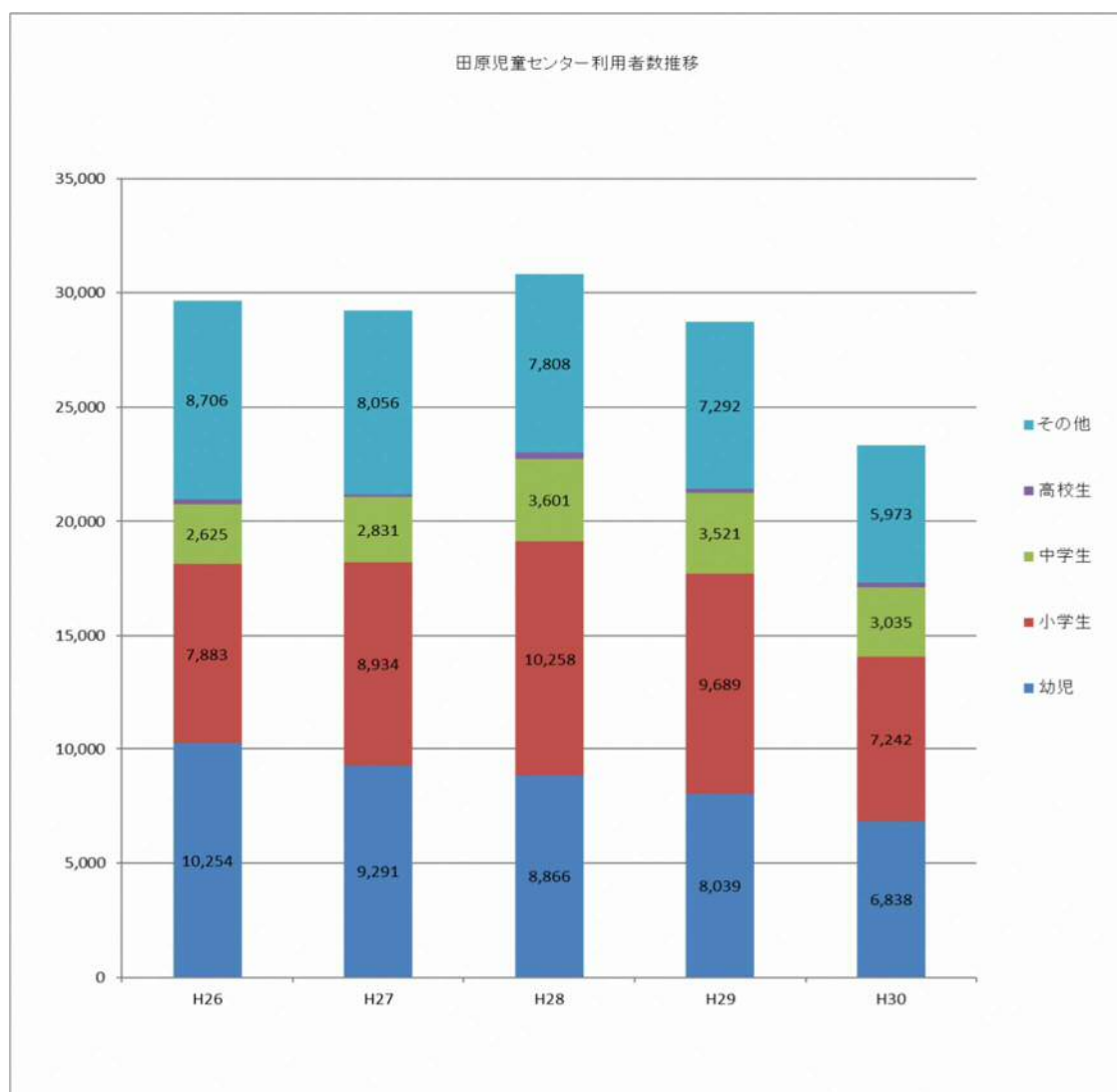
入所児童数 単位(人)



田原児童センターの年齢別の利用者数は以下のとおりで、平成 28 年度をピークに年々減少傾向にあります。

単位（人）

	H26	H27	H28	H29	H30	平均
幼児	10,254	9,291	8,866	8,039	6,838	8,658
小学生	7,883	8,934	10,258	9,689	7,242	8,801
中学生	2,625	2,831	3,601	3,521	3,035	3,123
高校生	201	134	283	194	230	208
その他	8,706	8,056	7,808	7,292	5,973	7,567
合計	29,669	29,246	30,816	28,735	23,318	28,357
月平均	2,472	2,437	2,568	2,395	1,943	2,363
日平均	100	98	103	96	78	95

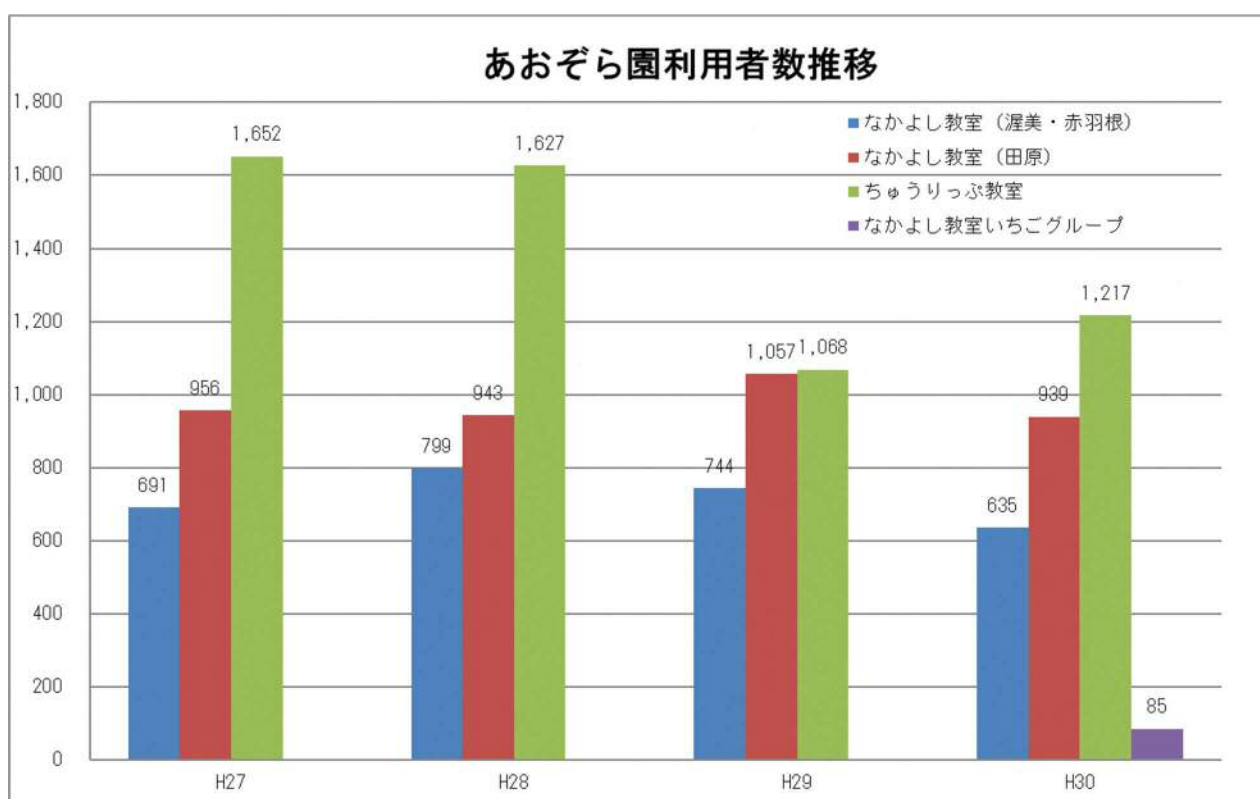


田原児童センター分館（あおぞら園）の利用者数は以下のとおりですが、年々減少傾向にあります。

※令和３年度から児童発達支援センター分館にて事業実施

単位（人）

	H27	H28	H29	H30	平均
なかよし教室（渥美・赤羽根）	691	799	744	635	717
なかよし教室（田原）	956	943	1,057	939	974
ちゅうりっぷ教室	1,652	1,627	1,068	1,217	1,391
なかよし教室いちごグループ				85	85
計	3,299	3,369	2,869	2,876	3,103



- 令和元年度に開設した「田原市親子交流館」の令和元年度来館者数は 202,966 人でした。

■運営時間

- 保育園の開所時間は次のとおりです。11 時間以上開園する保育標準時間対応の園は 17 園のうち 7 園となっています。

開園時間	月～金曜日	午前 7 時 30 分 ～午後 7 時	第一、稲場、赤羽根、福江、伊良湖岬保育園
		午前 7 時 30 分 ～午後 6 時 30 分	中部、神戸保育園
		午前 7 時 30 分 ～午後 4 時 30 分	野田、六連、東部、大草、高松、若戸、泉、清田、中山、小中山保育園
希望保育	土曜日等	午前 8 時 30 分 ～午前 12 時 30 分	全保育園、お盆等は各保育園の開園時間
休日保育	日曜日、祝日、年末年始	午前 7 時 30 分 ～午後 6 時	野田保育園
土曜日集合保育	祝日等以外の土曜日	午前 7 時 30 分 ～午後 6 時	野田保育園

- 田原児童センターの開館時間は以下のとおりです。

開館時間 火曜日～金曜日 午後 1 時～午後 5 時

土曜日、日曜日 午前 9 時 30 分～正午 午後 1 時～午後 5 時

休館日 月曜日、お盆（8 月 13 日～15 日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

- 田原市親子交流館の開館時間は以下のとおりです。（令和 3 年 4 月から以下のとおり変更）

開館時間 午前 8 時 30 分～午後 9 時

（水曜日・年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）は休み、水曜日が祝・休日の場合は翌平日が休み）

【各施設の利用時間】

妊娠・出産・子育て総合相談窓口	午前 8 時 30 分～午後 5 時
遊び場コーナー（ネット遊具など）	午前 9 時～午後 5 時
すくっとのかべ（ボルダリング）	午前 9 時～午後 9 時（午後 5 時～年齢制限フリー）
さくらルーム（子育て支援センター）	平 日 午前 9 時～正午、午後 1 時～午後 4 時 30 分 土日祝 午前 9 時～午後 4 時 30 分
にこっと（一時預かりルーム）	午前 8 時 30 分～午後 5 時
カルチャールーム、マルチスタジオ	午前 9 時～午後 9 時
すくっとラウンジ	午前 8 時 30 分～午後 9 時

- 田原市児童発達支援センター（旧南部保育園）の開館時間は以下のとおりです。（令和 3 年 4 月設置）

開館時間 月曜日～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時

休館日 祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

ウ 運営状況

■施設別利用スペースの構成

保育所（特定教育・保育施設認可基準等に関わる施設）の目的別保有面積は以下のとおりです。

施設名	乳児室	ほふく室	保育室	遊戯室	調理室	その他	施設計	屋外遊技場
第一保育園	83.53	—	353.46	200.73	23.40	407.28	1,068.40	1,320.00
野田保育園	34.50	29.10	164.43	150.00	22.50	396.30	796.83	1,225.88
六連保育園	49.19	27.30	146.25	150.00	38.60	208.53	619.87	4,000.00
東部保育園	45.36	26.55	221.88	144.25	29.16	208.77	675.97	1,619.64
中部保育園	44.80	32.20	273.20	211.20	62.40	519.18	1,142.98	1,062.00
北部保育園	44.80	33.15	336.00	207.54	38.48	434.64	1,094.60	950.00
神戸保育園	32.40	21.96	238.34	135.00	35.91	208.56	672.17	1,225.00
大草保育園	35.69	26.64	170.10	121.50	32.34	187.33	573.60	850.00
高松保育園	32.40	24.30	136.08	122.85	39.44	233.52	588.59	1,189.00
赤羽根保育園	35.77	25.92	136.08	122.85	40.93	227.62	589.17	1,125.00
若戸保育園	32.40	24.16	136.08	122.29	38.48	224.59	578.00	1,800.00
泉保育園	48.00	48.00	252.00	308.00	66.60	471.90	1,194.50	4,142.00
清田保育園	40.00	40.00	182.00	276.00	51.00	347.01	936.01	885.00
福江保育園	48.00	61.00	288.00	476.00	67.00	278.52	1,218.52	2,500.00
中山保育園	36.18	16.20	264.28	253.67	46.30	291.11	907.74	1,450.00
小中山保育園	34.11	30.60	252.00	308.00	60.20	298.93	983.84	3,831.00
伊良湖岬保育園	52.50	59.70	371.07	223.70	37.70	842.49	1,587.16	2,240.00
稲場保育園	54.00	84.00	484.68	148.65	52.50	327.20	1,151.03	1,387.27
計	783.63	610.78	4,405.93	3,682.22	782.94	6,113.47	16,378.98	32,801.79

田原児童センターの目的別面積は以下のとおりです。

事務室	図書室	創作活動室	交流スペース	集会室	ボランティア室	遊戯室	その他	施設計
35.00	39.90	47.80	56.00	42.70	38.40	124.50	112.99	497.29

田原市親子交流館の目的別面積は以下のとおりです。

事務室	ミーティングルーム	相談室（3部屋）	子育て支援ルーム	一時預かりルーム	カルチャールーム	マルチスタジオ	その他	施設計
44.93	13.98	47.45	128.51	32.26	81.63	110.96	1020.45	1,480.17

田原市児童発達支援センター(旧南部保育園)の目的別面積は以下のとおりです。

事務室	指導訓練室	遊戯室	相談室	医務室	多目的室	調理室	その他	施設計
51.53	170.1	121.5	21.33	34.37	31.21	22.45	272.51	725.00

■施設別運営人員

施設運営人員は以下のとおりです。保育園の職員数は、低年齢児の増加により年々増加しています。

保育園の職員数

単位（人）

施設名	H27	H28	H29	H30	R1
第一保育園	25	28	27	31	29
野田保育園	10	14	15	15	14
六連保育園	9	9	7	8	8
東部保育園	15	15	13	16	18
中部保育園	14	14	11	13	15
北部保育園	17	20	17	22	22
神戸保育園	9	8	11	10	14
大草保育園	6	7	7	8	8
高松保育園	9	11	10	9	13
赤羽根保育園	12	15	16	15	15
若戸保育園	9	7	10	9	9
泉保育園	13	10	12	10	11
清田保育園	9	10	12	12	13
福江保育園	21	21	22	24	23
中山保育園	11	11	9	9	8
小中山保育園	10	11	14	12	10
伊良湖岬保育園	16	20	23	22	18
稲場保育園	27	31	33	34	35
計	242	262	269	279	283

田原児童センターの職員数は以下のとおりです。

	H27	H28	H29	H30	R1
職員数	6	6	6	6	6

田原児童センター分館（旧南部保育園）の職員数は以下のとおりです。

※R3 から田原市児童発達支援センター分館(旧北部保育園)で事業実施

	H27	H28	H29	H30	R1
正規保育士	4	4	4	4	4
臨時保育士	7	7	5	5	5

田原市親子交流館の職員数は以下のとおりです。

	H27	H28	H29	H30	R1
正規事務職	—	—	—	—	3
臨時事務職	—	—	—	—	2
正規保育士	—	—	—	—	4
臨時保育士	—	—	—	—	6
正規看護職	—	—	—	—	3
嘱託看護職	—	—	—	—	2
臨時用務員(夜間)	—	—	—	—	8
計	—	—	—	—	28

※平成 31 年 4 月 22 日開設

■施設別運営コストの状況（過去5ヵ年）

「児童福祉施設」の年間トータルコストの平均は、1,125,954千円で、施設にかかるコストは796,160千円、事業運営にかかるコストは383,400千円、人にかかるコストは10,079,940千円となっています。年間トータルコストのうち、人件費が全体の89%を占めています。

（単位：千円）

施設名	第一保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	6,636	3,420	3,036	3,694	5,835	22,621	4,524
事業運営にかかるコスト	2,480	2,440	2,043	2,401	2,598	11,962	2,392
人にかかるコスト	81,138	66,929	61,784	68,907	85,717	364,475	72,895
年間トータルコスト	90,254	72,789	66,863	75,002	94,150	399,058	79,812

（単位：千円）

施設名	野田保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	2,258	2,860	2,577	2,579	3,932	14,206	2,841
事業運営にかかるコスト	1,582	1,580	1,460	1,411	1,272	7,305	1,461
人にかかるコスト	39,925	43,097	49,162	50,979	76,571	259,734	51,947
年間トータルコスト	43,765	47,537	53,199	54,969	81,775	281,245	56,249

（単位：千円）

施設名	六連保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	2,944	1,508	1,842	3,092	3,945	13,331	2,666
事業運営にかかるコスト	701	771	669	680	710	3,531	706
人にかかるコスト	36,271	43,322	37,545	38,327	38,416	193,881	38,776
年間トータルコスト	39,916	45,601	40,056	42,099	43,071	210,743	42,149

（単位：千円）

施設名	東部保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	2,174	1,976	2,590	2,790	4,745	14,275	2,855
事業運営にかかるコスト	1,967	2,079	1,994	1,924	1,454	9,418	1,884
人にかかるコスト	56,328	57,769	52,494	52,432	56,088	275,111	55,022
年間トータルコスト	60,469	61,824	57,078	57,146	62,287	298,804	59,761

(単位：千円)

施設名	中部保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	3,417	3,024	2,238	1,957	4,681	15,317	3,063
事業運営にかかるコスト	1,117	1,005	1,320	863	1,063	5,368	1,074
人にかかるコスト	47,581	40,307	43,110	43,248	44,746	218,992	43,798
年間トータルコスト	52,115	44,336	46,668	46,068	50,490	239,677	47,935

(単位：千円)

施設名	北部保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	4,357	23,492	2,831	4,581	3,934	39,195	7,839
事業運営にかかるコスト	1,849	2,039	2,326	1,956	3,041	11,211	2,242
人にかかるコスト	62,870	62,405	67,652	70,815	80,087	343,829	68,766
年間トータルコスト	69,076	87,936	72,809	77,352	87,062	394,235	78,847

※R3 から田原市児童発達支援センター分館として使用

(単位：千円)

施設名	神戸保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	2,529	6,017	1,840	2,436	3,904	16,726	3,345
事業運営にかかるコスト	1,230	1,151	1,027	1,163	1,124	5,695	1,139
人にかかるコスト	37,424	40,561	38,923	44,922	39,669	201,499	40,300
年間トータルコスト	41,183	47,729	41,790	48,521	44,697	223,920	44,784

(単位：千円)

施設名	大草保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	1,665	1,129	1,063	2,485	3,364	9,706	1,941
事業運営にかかるコスト	1,159	990	866	951	1,005	4,971	994
人にかかるコスト	29,264	35,350	41,540	42,146	45,629	193,929	38,786
年間トータルコスト	32,088	37,469	43,469	45,582	49,998	208,606	41,721

(単位：千円)

施設名	高松保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	6,674	1,618	1,563	1,741	2,578	14,174	2,835
事業運営にかかるコスト	1,174	1,076	1,087	975	856	5,168	1,034
人にかかるコスト	32,414	35,010	81,534	49,290	49,776	248,024	49,605
年間トータルコスト	40,262	37,704	84,184	52,006	53,210	267,366	53,473

(単位：千円)

施設名	赤羽根保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	3,476	3,063	3,427	3,578	3,430	16,974	3,395
事業運営にかかるコスト	1,641	1,335	1,664	1,711	1,350	7,701	1,540
人にかかるコスト	48,489	46,162	40,206	55,155	56,209	246,221	49,244
年間トータルコスト	53,606	50,560	45,297	60,444	60,989	270,896	54,179

(単位：千円)

施設名	若戸保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	2,106	2,046	1,302	2,079	2,896	10,429	2,086
事業運営にかかるコスト	977	1,146	1,104	1,183	1,066	5,476	1,095
人にかかるコスト	35,545	37,930	40,979	39,898	40,444	194,796	38,959
年間トータルコスト	38,628	41,122	43,385	43,160	44,406	210,701	42,140

(単位：千円)

施設名	泉保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	9,267	3,829	2,357	3,411	4,159	23,023	4,605
事業運営にかかるコスト	1,569	1,697	1,629	1,442	1,150	7,487	1,497
人にかかるコスト	45,866	48,250	42,862	49,449	47,490	233,917	46,783
年間トータルコスト	56,702	53,776	46,848	54,302	52,799	264,427	52,885

(単位：千円)

施設名	清田保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	2,294	3,002	2,958	3,308	4,540	16,102	3,220
事業運営にかかるコスト	1,164	993	1,058	1,084	1,138	5,437	1,087
人にかかるコスト	32,092	38,745	39,694	48,745	41,264	200,540	40,108
年間トータルコスト	35,550	42,740	43,710	53,137	46,942	222,079	44,416

(単位：千円)

施設名	福江保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	6,110	37,275	3,601	4,542	5,329	56,857	11,371
事業運営にかかるコスト	2,791	2,768	2,445	2,065	2,842	12,911	2,582
人にかかるコスト	83,019	67,226	61,971	77,963	71,701	361,880	72,376
年間トータルコスト	91,920	107,269	68,017	84,570	79,872	431,648	86,330

(単位：千円)

施設名	中山保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	4,553	2,315	6,246	2,161	5,239	20,514	4,103
事業運営にかかるコスト	1,260	1,346	1,430	1,128	959	6,123	1,225
人にかかるコスト	38,019	71,837	68,411	40,026	45,345	263,638	52,728
年間トータルコスト	43,832	75,498	76,087	43,315	51,543	290,275	58,055

(単位：千円)

施設名	小中山保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	8,030	1,962	2,901	4,134	4,027	21,054	4,211
事業運営にかかるコスト	1,601	1,443	1,404	1,548	1,308	7,304	1,461
人にかかるコスト	49,332	44,553	45,793	46,117	52,570	238,365	47,673
年間トータルコスト	58,963	47,958	50,098	51,799	57,905	266,723	53,345

(単位：千円)

施設名	伊良湖岬保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	3,570	3,008	3,413	3,998	4,178	18,167	3,633
事業運営にかかるコスト	1,739	2,167	1,844	2,039	1,607	9,396	1,879
人にかかるコスト	53,333	52,895	51,477	57,335	70,210	285,250	57,050
年間トータルコスト	58,642	58,070	56,734	63,372	75,995	312,813	62,563

(単位：千円)

施設名	稲場保育園						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	—	2,618	2,001	2,979	4,114	11,712	2,928
事業運営にかかるコスト	—	2,800	2,917	2,375	3,103	11,195	2,799
人にかかるコスト	—	87,600	76,812	94,275	83,554	342,241	85,560
年間トータルコスト	—	93,018	81,730	99,629	90,771	365,148	91,287

※平成 27 年 4 月開園

(単位：千円)

施設名	田原児童センター						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	2,470	4,657	2,625	2,326	7,976	20,054	4,011
事業運営にかかるコスト	833	939	1,144	961	1,074	4,951	990
人にかかるコスト	10,304	10,741	10,470	11,075	10,235	52,825	10,565
年間トータルコスト	13,607	16,337	14,239	14,362	19,285	77,830	15,566

(単位：千円)

施設名	田原児童センター分館（旧南部保育園）						
項目	H26	H27	H28	H29	H30	合計	年平均
施設にかかるコスト	1,120	2,258	10,246	2,645	4,453	20,722	4,144
事業運営にかかるコスト	1,342	10,252	11,328	11,957	11,415	46,294	9,259
人にかかるコスト	36,088	41,137	42,159	56,253	64,140	239,777	47,955
年間トータルコスト	38,550	53,647	63,733	70,855	80,008	306,793	61,359

※R3 から、実施していた事業は田原市児童発達支援センター分館(旧北部保育園)に場所を変更して実施。建物は田原市児童発達支援センターとして使用

(単位：千円)

施設名	田原市親子交流館						
項目	H27	H28	H29	H30	R1	合計	年平均
施設にかかるコスト	—	—	—	—	1,938	1,938	—
事業運営にかかるコスト	—	—	—	—	14,371	14,371	—
人にかかるコスト	—	—	—	—	40,704	40,704	—
年間トータルコスト	—	—	—	—	57,013	57,013	—

※平成 31 年 4 月 22 日開設

(2) 施設の将来の更新コスト(17年間)

「児童福祉施設」の、事後保全で単純更新した場合の今後 17 年間に必要となるコストは以下のとおりです。

ア 将来の更新コスト

(単位：千円)

施設名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	施設別 小計
第一保育園									177,432		177,432
野田保育園		127,282					3,308				130,590
六連保育園			1,170								1,170
東部保育園	114,844										114,844
中部保育園				124,103							124,103
児童発達支援センター分館 (旧北部保育園)					100,741					7,822	108,563
神戸保育園										2,698	2,698
大草保育園			97,421								97,421
高松保育園						88,979			2,641		91,620
赤羽根保育園						92,316					92,316
若戸保育園						90,241					90,241
泉保育園					179,003						179,003
清田保育園				142,832							142,832
福江保育園			185,532		1,529					8,876	195,937
中山保育園						98,034			4,364		102,398
小中山保育園		145,677									145,677
伊良湖岬保育園		238,477									238,477
稲場保育園									191,469		191,469
田原児童センター											0
児童発達支援センター (旧南部保育園)			96,877								96,877
田原市親子交流館											0
年度別計	114,844	511,436	381,000	266,935	281,273	369,570	3,308		375,906	19,396	2,323,668

施設名	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	施設別 合計
第一保育園								177,432
野田保育園							363,132	493,722
六連保育園		102,881						104,051
東部保育園		2,405		835		332,244		450,328
中部保育園								124,103
児童発達支援センター分館 (旧北部保育園)								108,563
神戸保育園					314,028			316,726
大草保育園								97,421
高松保育園								91,620
赤羽根保育園								92,316
若戸保育園								90,241
泉保育園		3,949						182,952
清田保育園		3,146						145,978
福江保育園		143						196,080
中山保育園								102,398
小中山保育園		3,240			383,982		437,184	970,083
伊良湖岬保育園							1,201,162	1,439,639
稲場保育園								191,469
田原児童センター		346,622						346,622
児童発達支援センター (旧南部保育園)		2,035						98,912
田原市親子交流館			19,691	165				19,856
年度別計		464,421	19,691	1,000	698,010	332,244	2,001,478	5,840,512

イ 将来の維持管理コスト

(単位：千円)

施設名	施設にかかるコスト	事業運営に係るコスト	人にかかるコスト	施設別計
第一保育園	76,908	40,664	1,239,215	1,356,787
野田保育園	48,297	24,837	883,099	956,233
六連保育園	45,322	12,002	659,192	716,516
東部保育園	48,535	32,028	935,374	1,015,937
中部保育園	52,071	18,258	744,566	814,895
児童発達支援センター分館 (旧北部保育園)	133,263	157,403	815,235	1,105,901
神戸保育園	56,865	19,363	685,100	761,328
大草保育園	32,997	16,898	659,362	709,257
高松保育園	48,195	17,578	843,285	909,058
赤羽根保育園	57,715	26,180	837,148	921,043
若戸保育園	35,462	18,615	662,303	716,380
泉保育園	78,285	25,449	795,311	899,045
清田保育園	54,740	18,479	681,836	755,055
福江保育園	193,307	43,894	1,230,392	1,467,593
中山保育園	68,751	20,825	896,376	985,952
小中山保育園	71,587	24,837	810,441	906,865
伊良湖岬保育園	61,761	31,943	969,850	1,063,554
稲場保育園	49,776	47,583	1,454,520	1,551,879
田原児童センター	68,187	16,830	179,605	264,622
児童発達支援センター (旧南部保育園)	70,448	125,086	460,105	655,639
田原市親子交流館	32,946	244,307	691,968	969,221
計	1,385,418	983,059	17,134,283	19,502,760

※児童発達支援センターは R3 予算額を参考に試算

ウ 将来必要となる「児童福祉施設」のコスト（更新コスト+維持管理コスト）

（単位：千円）

施設名	ア 将来の更新コスト	イ 将来の維持管理コスト	施設別計
第一保育園	177,432	1,356,787	1,534,219
野田保育園	493,722	956,233	1,449,955
六連保育園	104,051	716,516	820,567
東部保育園	450,328	1,015,937	1,466,265
中部保育園	124,103	814,895	938,998
児童発達支援センター分館 (旧北部保育園)	108,563	1,105,901	1,214,464
神戸保育園	316,726	761,328	1,078,054
大草保育園	97,421	709,257	806,678
高松保育園	91,620	909,058	1,000,678
赤羽根保育園	92,316	921,043	1,013,359
若戸保育園	90,241	716,380	806,621
泉保育園	182,952	899,045	1,081,997
清田保育園	145,978	755,055	901,033
福江保育園	196,080	1,467,593	1,663,673
中山保育園	102,398	985,952	1,088,350
小中山保育園	970,083	906,865	1,876,948
伊良湖岬保育園	1,439,477	1,063,554	2,503,031
稲場保育園	191,469	1,551,879	1,743,348
田原児童センター	346,622	264,622	611,244
児童発達支援センター (旧南部保育園)	98,912	655,639	754,551
田原市親子交流館	19,856	969,221	989,077
計	5,840,512	19,502,760	25,343,272

(3) 施設の老朽化状況

ア 構造躯体以外の劣化状況等の評価

本市の「児童福祉施設」について、下記のルールに基づき、棟ごとの劣化状況を健全度として算定しました。

建築物の劣化状況等に関する判定基準

良好

劣化

判定	劣化状況	劣化状況の定量的な判定基準の目安			
		1)ひび割れ 外壁、内部仕上げ 等	2)浮き剥離 外壁、内部仕上げ 等	3)腐食（錆） 外壁、内部仕上げ 等	4)作動不良 電気設備等
A	・全体的に健全である。 ・緊急修繕の必要がなく、日常の維持管理で対応するもの。	劣化部が 全体の 0~10% 程度	0~10% 程度	部分的に 錆が発生 (1%以下)	施設が問題なく本来の機能を維持している状態（築 10 年を目安）
B	・全体的に健全であるが、部分的な劣化が進行している。 ・緊急修繕の必要はないが、維持管理の中で定期的な観察が必要なもの	10~40% 程度	10~30% 程度	部分的に 錆が発生 (1%を超え 33%未満)	多少の不具合が確認されるが、施設は機能している状態（築 20 年を目安）
C	・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修が必要なもの。	40~70% 程度	30~50% 程度	部分的に 錆が発生 (33%を超え 50%未満)	明らかに不具合箇所があり、施設の機能が部分的に損なわれている状態（築 30 年を目安）
D	・全体的に顕著な劣化がある。 ・重大な事故に繋がるおそれがあり、施設の利用禁止あるいは、緊急の補修が必要なもの。	70~100% 程度	50~100% 程度	部分的に 錆が発生 (50%以上)	施設本来の機能を全く維持していない状態（築 40 年以上を目安）

部位の評価点

判定	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋上・屋根	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

健全度の算定方法

$$\text{健全度} = (\text{部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分}) \div 60.0$$

健全度の計算例

部位	判定	評価点	コスト配分		
屋上・屋根	A	100	5.1	×	510.0
外壁	B	75	17.2	×	1290.0
内部仕上	C	40	22.4	×	896.0
電気設備	A	100	8.0	×	800.0
機械設備	B	75	7.3	×	547.5
合計					4,043.5
					÷60
				健全度	67

（出典：田原市学校未来創造計画）

以下の表は、財産台帳を基に、前頁のルールに従い棟ごとの劣化状況を整理したものです。

劣化状況一覧表

建物情報					劣化状況評価						備考
施設 I D	施設名	構造	建築年度		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電機設備	機械設備	健全度	
			西暦	和暦							
16	第一保育園	鉄筋コンクリート造	1984	S59	C	C	C	B	B	49	
17	野田保育園	鉄骨造	1976	S51	B	C	C	B	B	52	
18	六連保育園	鉄筋コンクリート造	1986	S61	C	B	B	B	B	72	
19	東部保育園	鉄骨造	1975	S50	D	C	D	C	C	26	
20	中部保育園	鉄筋コンクリート造	1978	S53	B	C	C	B	B	52	
21	田原市児童発達支援センター分館(旧北部保育園)	鉄筋コンクリート造	1979	S54	B	B	B	B	B	75	
22	神戸保育園	鉄骨造	1974	S49	B	B	C	C	C	53	
23	大草保育園	鉄骨造	1977	S52	A	B	C	B	C	60	
25	高松保育園	鉄筋コンクリート造	1980	S55	B	B	B	B	B	75	
26	赤羽根保育園	鉄筋コンクリート造	1980	S55	C	B	B	B	B	72	
27	若戸保育園	鉄筋コンクリート造	1980	S55	C	B	B	B	C	68	
28	泉保育園	鉄骨造	1980	S55	A	B	C	B	C	60	R 1 屋根 改修
29	清田保育園	鉄骨造	1979	S54	D	B	B	C	C	61	
30	福江保育園	鉄骨造	1978	S53	B	B	C	B	C	58	
31	中山保育園	鉄筋コンクリート造	1981	S56	D	C	C	C	B	42	
32	小中山保育園	鉄骨造	1977	S52	B	C	C	C	B	48	
33	伊良湖岬保育園	鉄筋コンクリート造	2006	H18	A	B	B	A	A	84	
286	稲場保育園	木造	2014	H26	A	A	A	A	A	100	
35	田原児童センター	鉄筋コンクリート造	2002	H14	B	C	B	A	C	64	R2 屋根 空調改修
146	田原市児童発達支援センター (旧南部保育園)	鉄骨造	1977	S52	B	A	C	B	B	69	R2 屋根 外装改修
375	田原市親子交流館	鉄骨造	2018	H30	A	A	A	A	A	100	

A : 概ね良好

B : 部分的に劣化

C : 広範囲に劣化

D : 早急に対応する
必要がある

(4) 施設評価

ア 1人当たりにかかるコスト

各保育園の1年間にかかる施設コストのうち、1人当たりに係る年間コストは以下のとおりです。利用人数が少ない園は、1人当たりのコストが高くなる傾向にあります。

施設名	年間運営コスト (千円)	平均利用 児童数(人)	1人当たりの 年間コスト(千円)
第一保育園(乳児・標準)	79,812	122	654
野田保育園	56,249	67	840
六連保育園	42,149	33	1,277
東部保育園	59,761	99	604
中部保育園(標準)	47,935	50	959
北部保育園(標準)	78,847	128	616
神戸保育園(標準)	44,784	53	845
大草保育園	41,721	39	1,070
高松保育園	53,473	37	1,445
赤羽根保育園(乳児・標準)	54,179	75	722
若戸保育園	42,140	48	878
泉保育園	52,885	70	756
清田保育園	44,416	52	854
福江保育園(乳児・標準)	86,330	130	664
中山保育園	58,055	57	1,019
小中山保育園	53,345	71	751
伊良湖岬保育園(乳児・標準)	62,563	97	645
稲場保育園(乳児・標準)	91,287	168	543

保育園以外の施設の1年間にかかる施設コストのうち、1人当たりに係るコストは以下のとおりです。

施設名	年間運営コスト (千円)	平均利用 人数(延)	1人(延)当たりの コスト(千円)
田原児童センター	15,566	28,357	0.5
田原児童センター分館(旧南部保育園)	61,359	3,103	19.8
田原市親子交流館	57,013	202,966	0.3

イ 床面積 1㎡あたりにかかるコスト

児童福祉施設の床面積 1㎡あたりにかかるコストは以下のとおりです。

施設名	年間運営コスト (千円)	床面積(㎡)	1㎡当たりのコスト (年/千円)
第一保育園(乳児保育・保育標準時間実施)	79,812	1,304.79	61
野田保育園	56,249	940.88	60
六連保育園	42,149	764.82	55
東部保育園	59,761	868.32	69
中部保育園(標準)	47,935	1,264.80	38
北部保育園(標準)	78,847	1,273.52	62
神戸保育園(標準)	44,784	794.93	56
大草保育園	41,721	700.10	60
高松保育園	53,473	676.09	79
赤羽根保育園(乳児保育・保育標準時間実施)	54,179	675.36	80
若戸保育園	42,140	666.24	63
泉保育園	52,885	1,371.38	39
清田保育園	44,416	1,080.95	41
福江保育園(乳児保育・保育標準時間実施)	86,330	1,464.91	59
中山保育園	58,055	1,029.56	56
小中山保育園	53,345	2,084.92	26
伊良湖岬保育園(乳児保育・保育標準時間実施)	62,563	1,785.88	35
稲場保育園(乳児保育・保育標準時間実施)	91,287	1,431.98	64
田原児童センター	15,566	497.29	31
田原児童センター分館(旧南部保育園)	61,359	725.00	85
田原市親子交流館	57,013	1,480.17	39

ウ 施設健全度

保育園の多くは築 35 年以上となっており、劣化状況評価では早急に対応が必要であると評価された施設が屋根・屋上は 3 園、内部仕上げは 1 園あります。耐震補強工事や改修工事は必要に応じて実施していますが、多くの保育園は老朽化が進行しており施設健全度は低くなっています。

3 対策の優先順位の考え方

今後の建物を維持管理するための修繕等については、施設を運営していくため、また、利用者等の安全確保のための応急処置や緊急修繕工事等を、最優先して対応します。

その他の維持修繕工事等の対策の優先順位については、①劣化・損傷の状況等の緊急性、②耐震性（Is値の低いもの）、③必要性、④利用状況等による重要性、⑤予防保全、⑥耐用年数等を判断し、本計画に基づき検討したうえで実施します。

また、施設の建替えについては、(3)施設整備の基本的な方針に基づき実施します。

（１）施設の状態

現在、公立保育園の多くは築３５年以上となっており、老朽化が進んでいることに加え、少子化の影響から公立保育園の半数近くが３歳以上の園児数が５０人未満の小規模園となっています。子どもの心身の健康や人との関わり及び感性と表現などの力を養うためにはある程度の集団規模を整えることも必要であり、また、小規模園では、１人当たりの施設維持コストも高くなっていることから、小規模園の解消は優先課題となっています。更に、低年齢児保育のニーズが高くなっていますが、乳児受入には調理室や乳児室等の施設整備が必要となるため、受入れできる施設は限定されていることから建替え又は大規模な修繕や改修が必要な状態となっています。

保育園以外の施設では、田原児童センター分館(旧南部保育園)が築４２年経過しており老朽化が進んでいましたが、令和２年度に屋根・外装等の改修を行い、令和３年度から田原市児童発達支援センターに移行して運営しています。

田原児童センターは、施設の屋根及び空調の老朽化が進んでいたことから令和２年度に改修を行い、施設老朽化への対応をしています。

（２）施設が果たしている役割等

保育所は、子どもが安全安心して生活ができる場を提供し、健全な心身の発達を図り生涯にわたり生きる力の基礎を育てる子どもの健全育成を担う場であるとともに、保護者の就労支援や育児や親子関係に関する相談や助言を行うなどの保護者支援の場となっています。子どもの生活環境や保護者の子育て環境、親子の関係性の変化などの社会的環境の変化に伴う課題を解決するための機能も求められており、重要な役割を担っています。

田原児童センターは、遊びを通しての仲間づくりや社会のルールを守る意識づくりをする場として、子どもが自主的に参加し、自由に遊べる居場所として子どもの健全育成を担う場としての機能を果たしています。

旧南部保育園施設は、以前は田原児童センター分館として、障害の早期発見・早期支援を目的とした発達支援教室や、保護者からの相談を受けるなどの保護者支援を行い、療育の拠点としての機能を果たしていました。令和３年度からは、田原市児童発達支援センターに移行し、児童発達支援事業や障害児相談支援事業等を実施するなど障害児支援の拠点としての機能を果たしています。また、児童発達支援事業や障害児相談支援事業等を実施する田原市児童発達支援センターの開設にあわせて、旧北部保育園施設を、障害の早期発見・早期支援を目的とした発達支援教室を実施する田原市児童発達支援センター分館として活用を開始しました。

田原市親子交流館は、雨の日でも親子で楽しく遊べ、多様な世代が交流・活動する場として、また、切れ目ない子育て支援サービスを提供するための子育て支援の拠点施設として、重要な役割を担っています。

（３）施設整備の基本的な方針

ア 施設の規模・配置等の方針

施設の耐用年数と劣化状況を、点検・診断等を通じて把握した劣化・損傷の状況から老朽化状況を把握し、計画的に維持管理・修繕・更新を行うことを基本とし、コストの平準化に努めます。特に、保育所については、現時点における田原市の保育施策の解決すべき優先課題として、津波浸水区域に立地する保育園の移転、小規模園の解消、保育サービスの充実及び保育士の効率的配置が挙げられていることから、これらの課題解決につながる公立保育園の統合・民営化を推し進めることを最優先に取り組むものとします。

基本的な考え方は、以下のとおりです。

保育所	○保育サービスの充実を図るため、公立保育園としての機能の充実や施設の統合・民営化による民間サービスの活用などを検討します。 ○津波浸水区域に立地する保育園については、安心安全な場所への移転を検討します。 ○更新が必要な施設については、近隣保育園との統合を検討します。 ○３歳以上の園児数が５０人未満の保育園については、統合の検討対象とします。 ○施設の配置や園児数などの条件が整う保育園については、民営化への移行を検討します。
田原児童センター	○児童の健全育成を図る拠点施設として活用していきますが、利用状況等を踏まえ多機能化等を検討します。
田原市児童発達支援センター	○児童発達支援事業や相談支援事業等を行う障害児の拠点施設として、分館も含めて活用していきます。
田原市親子交流館	○田原市の子育て支援の拠点施設として活用していきます。

イ 今後の方向性

■現状の規模や機能を維持する施設

集団規模を確保している保育園は、今後も公立保育園として維持していきます。

児童発達支援事業を行う児童発達支援センターについては、今後も療育及び障害児支援の拠点となる施設として活用していきます。

田原市親子交流館については、現施設の規模・機能を維持し、今後も子育て支援の拠点施設として活用していきます。

■現状の機能を維持しつつ、他の公共施設等との複合化等を検討する施設

津波浸水区域に立地する保育園については、統合も視野に、安心安全な場所への移転を検討します。

子どもの健全な育成を図る中核的な活動拠点である児童センターについては、放課後児童クラブや放課後子ども教室との連携や活用など、多機能的な活用方法等を検討していきます。

■統合・廃止等を検討する施設

３歳以上の園児数が５０人未満の小規模園及び更新が必要な保育園については、保育規模の適正化を図るため、近隣保育園との統合・民営化を検討していきます。

施設の配置や園児数などの条件が整う保育園は、民営化への移行を検討していきます。

現在運営している公立保育園１７園のうち小規模園は１１園ですが、令和４年度には、小規模園２園を含めた３園の公立保育園が統合され、新たな私立認定こども園が開設される予定です。

（４）改修等の基本的な方針

ア 施設の目標使用年数、改修周期の設定等

本市の「児童福祉施設」に係る目標使用年数、改修周期等を次のとおり設定します。

建物の耐用年数については、考え方が様々ありますが、法定耐用年数を上回る目標使用年数を設定し、予防保全による施設の長寿命化に取り組む必要があります。物理的な耐用年数は、構造、立地条件、使用状況の違いなどによっても大きく左右されますが、目標使用年数は、「建築物の耐久計画に関する考え方」（（社）日本建築学会）を参考に設定しています。また、日々の施設の点検等により、劣化、破損あるいはその拡大を未然に防ぐ予防保全の手法で、目標使用年数の達成を目指します。

【参考】「建築物の耐久計画に関する考え方」（（社）日本建築学会）

構 造	目標耐用年数	上限値	平均値
RC 造、SRC 造、S 造	50 年～80 年	80 年	65 年
木造	30 年～50 年	50 年	40 年

目標使用年数、改修周期等

		目標使用年数	修繕の周期	改修の周期
保育所	RC 造、SRC 造、S 造	80 年	建設から 20～25 年	修繕から 20 年
	木造	50 年	建設から 15 年	修繕から 15 年
田原児童センター 田原市児童発達支援センター 田原市親子交流館		80 年	建設から 20～25 年	修繕から 20 年

整備方法の定義

整備方法	定義
修繕	施設、設備、構造物等の機能維持のために必要となる補修・修繕などで、補修・修繕後の効用が当初の効用を上回らないもの。屋根や外壁の塗り替え、亀裂の補修など。
改修（長寿命化改修）	公共施設等を直すもので、改修後の効用が当初の効用を上回るもの。耐震改修、長寿命化改修など。転用も含む。
更新（建替）	老朽化等に伴い機能が低下した施設等を取り替え、同程度の機能に再整備すること。除却も含む。

施設更新の基準

保育所	○現状の規模や機能を維持する施設とした伊良湖岬保育園、稲場保育園については、大規模改修による長寿命化を図ります。 ○その他の老朽化の進んでいる保育所については、統合・民営化に合わせて建替えをすることとしますが、統合の方針が決定するまでは、劣化状況を把握して予防保全による維持管理をしていきます。保育所は、子どもの安全を確保することが必要な施設であることから、長寿命化改修を順次行うこととします。
田原児童センター 田原市児童発達支援センター 田原市親子交流館	耐用年数と劣化度を把握し、利用状況によって施設の更新、廃止等を検討します。なお、更新の際は、他施設との複合化についても検討します。

イ 長寿命化の方針

長寿命化の方針

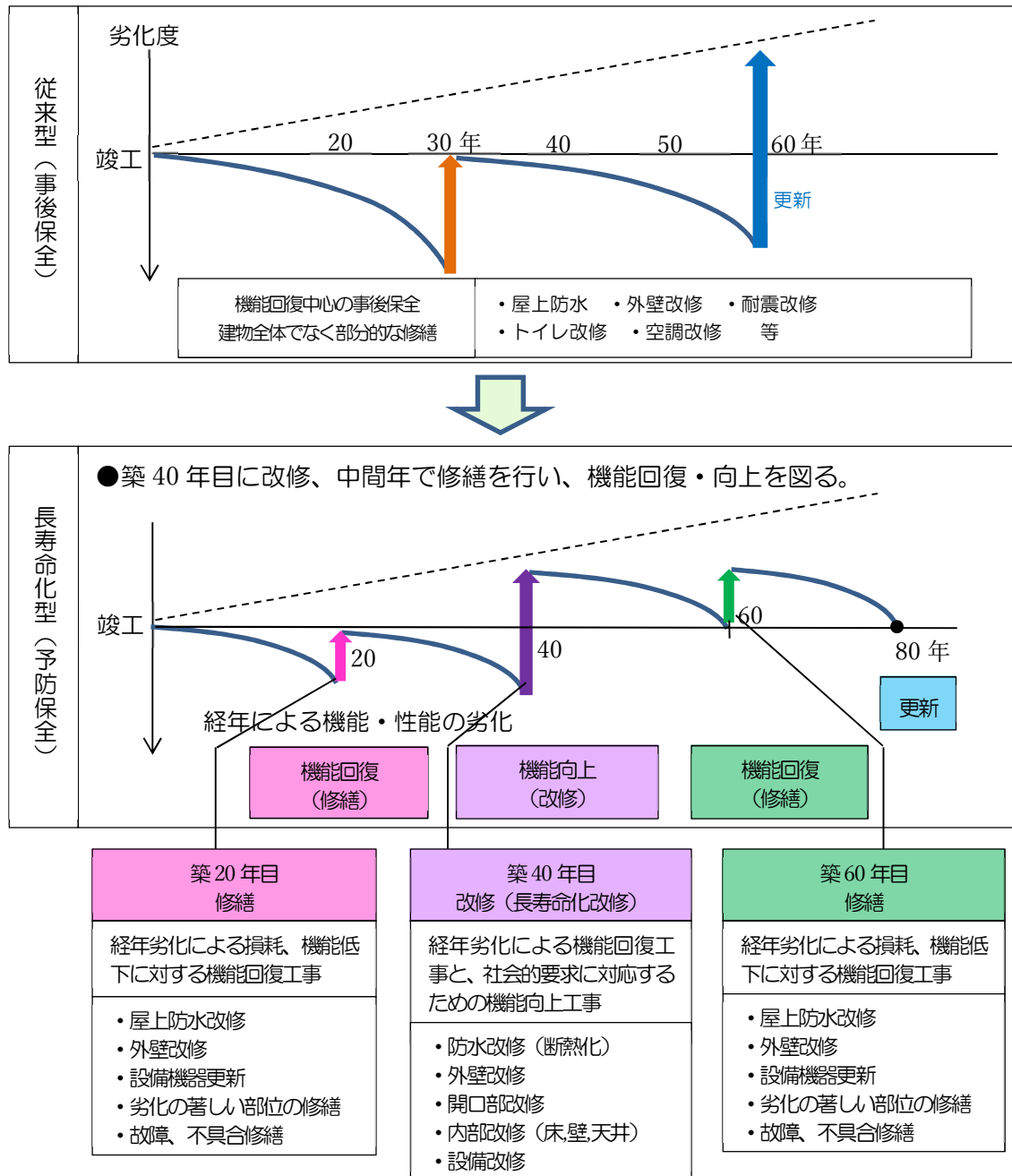
田原市公共施設等総合管理計画	劣化の状況に応じて、適切な時期に適切な改修・修繕等を行い、施設の長寿命化による公共施設（建築物）の更新費用、ライフサイクルコストの削減を図ります。
児童福祉施設	中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、以下に示す施設を除き、改築より工事費が安価で廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修を行います。 なお、長寿命化の対応を行わないこととした施設についても、建替えなどの期間までに応急的な保全を行うなど、安全性・機能性などの確保に留意します。 【対象外施設】 ・鉄筋コンクリート劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築したほうが経済的に望ましい施設 ・コンクリート強度が著しく低い施設 ・基礎の多くの部分で鉄筋等が腐食するなどの劣化が見られる施設 ・保育所規模適正化・民営化などの検討の結果、方針が決定した施設

長寿命化にあたっては、本市の公共施設（建築物）の全施設を比較して、更新コストが一定期間に集中した場合は、市の財政負担を考慮して、優先度の高い施設を優先し、一部を先送りにするなど、コストの平準化を図り、実現性を高めております。また、個別施設計画の対象となっている施設の中でも、小規模な倉庫や自転車置き場など、更新コストが比較的少ない建物については、予防保全としての長寿命化対策は実施せず、事後保全としての修繕等で対応することとします。

ウ 予防保全の方針

施設をできる限り長く使用するため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのためには老朽化による劣化損傷等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行う事後保全だけでなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで、機能・性能の保持・回復を図る予防保全に転換していきます。予防保全を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させることができ、施設の不具合による被害のリスクを緩和することや、改修や維持管理の費用を平準化して、中長期的なトータルコストを縮減することが可能になります。日常的、定期的に建物の劣化状況を把握するとともに、修繕必要箇所の情報の集約・記録し、修繕への対応状況を管理するなどして、計画的に維持管理を行っていきます。

◆従来型と長寿命化型の対策イメージは以下のとおりです。



(5) 対策内容と実施時期

(単位：千円)

施設名	建物	建築 年度	計 画 期 間										対策費用 小計
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
保育所	第一保育園	S59					長寿命化					修繕	
							30,000					5,000	35,000
	野田保育園	S51						長寿命化					
								30,000					30,000
	六連保育園	S61						修繕					
								10,000					10,000
	東部保育園	S50			長寿命化					修繕			
					30,000					5,000			35,000
	中部保育園	S53			修繕					長寿命化			
					5,000					60,000			65,000
	神戸保育園	S49				長寿命化					修繕		
						30,000					5,000		35,000
	大草保育園	S52							長寿命化				
									30,000				30,000
	高松保育園	S55		用途廃止		解体							
						28,000							28,000
	赤羽根保育園	S55		解体									
				28,000									28,000
	若戸保育園	S55		用途廃止	解体								
					28,000								28,000
	泉保育園	S55					修繕					長寿命化	
							5,000					30,000	35,000

	建物	建築 年度	計 画 期 間										対策費用 小計
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
	清田保育園	S54						修繕					
								5,000					5,000
	福江保育園	S53			修繕					長寿命化			
					5,000					30,000			35,000
	中山保育園	S56		長寿命化				修繕					
				30,000				5,000					35,000
	小中山保育園	S52				長寿命化					修繕		
						30,000					5,000		35,000
	伊良湖岬保育園	H18						修繕					
その他								60,000					60,000
	稲場保育園	H26				修繕					修繕		
						10,000					60,000		70,000
	田原児童センター	H14							修繕				
									30,000				30,000
	児童発達支援センター (旧南部保育園)	S52							修繕				
									10,000				10,000
	児童発達支援センター分館 (旧北部保育園)	S54									修繕		
											10,000		10,000
	田原市親子交流館	H30									修繕		
											10,000		10,000
対策費用計				58,000	68,000	98,000	35,000	110,000	70,000	95,000	90,000	35,000	659,000

(単位：千円)

施設名	建物	建築 年度	計 画 期 間										対策 費用計
			R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19				
保育所	第一保育園	S59					修繕						
							10,000						45,000
	野田保育園	S51	修繕					修繕					
			5,000					10,000					45,000
	六連保育園	S61	修繕					長寿命化					
			5,000					30,000					45,000
	東部保育園	S50			修繕								
					10,000								45,000
	中部保育園	S53			修繕								
					5,000								70,000
	神戸保育園	S49				修繕							
						10,000							45,000
	大草保育園	S52		修繕					修繕				
				5,000					10,000				45,000
	高松保育園	S55											
													28,000
	赤羽根保育園	S55											
													28,000
	若戸保育園	S55											
													28,000
	泉保育園	S55					修繕						
							5,000						40,000

	建物	建築 年度	計 画 期 間									対策 費用計
			R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19			
	清田保育園	S54	長寿命化					修繕				
			60,000					5,000				70,000
	福江保育園	S53			修繕							
					5,000							40,000
	中山保育園	S56	修繕					修繕				
			10,000					5,000				50,000
	小中山保育園	S52				修繕						
						10,000						45,000
その他	伊良湖岬保育園	H18	修繕					修繕				
			10,000					20,000				90,000
	稲場保育園	H26				修繕						
						10,000						80,000
	田原児童センター	H14		修繕					修繕			
				5,000					10,000			45,000
	児童発達支援センター (旧南部保育園)	S52		修繕					長寿命化			
				5,000					60,000			75,000
	児童発達支援センター分館 (旧北部保育園)	S54										
												10,000
	田原市親子交流館	H30				修繕						
対策費用計			90,000	15,000	20,000	60,000	15,000	70,000	80,000			1,009,000

（６）長寿命化の方針に伴うコストの見通し、効果

従来型（事後保全）の 60 年で建て替えるサイクルから、長寿命化型（予防保全）の 80 年（木造は 50 年）で建て替えるサイクルに転換した場合、将来 17 年間にかかる更新コストを比較すると、試算上、予防保全のための修繕や改修を計画的に行い、大規模改修時期の先延ばしや経費の圧縮が可能となることから、更新コストは約 48 億円の削減が見込まれます。また、保育所については、令和 4 年度から開園する(仮称)あかばねこども園を始めとする統合・民営化の推進や、児童発達支援センターとしての利活用、事業の見直し等により、維持管理コストも約 24 億円の削減が見込まれます。

将来 50 年間の保育所の建替えに係るコストについては、小規模園の建替えは、統合を原則とすることにより、大幅な削減が見込まれます。

※なお、民営化する園については、整備補助金や運営補助金など、施設にかかるコストとは別の形での経費が必要となるため、市全体としてみると、ここまでの削減効果は得られません。

(単位：千円)

施設名	今後 17 年間の更新コスト		今後 17 年間の維持管理コスト	
	現状	長寿命化実施後	現状	長寿命化実施後
第一保育園	177,432	45,000	1,356,787	1,356,787
野田保育園	493,722	45,000	956,233	956,233
六連保育園	104,051	45,000	716,516	716,516
東部保育園	450,328	45,000	1,015,937	1,015,937
中部保育園	124,103	70,000	814,895	814,895
北部保育園	108,563	10,000	1,105,901	1,105,901
神戸保育園	316,726	45,000	761,328	761,328
大草保育園	97,421	45,000	709,257	709,257
高松保育園	91,620	28,000	909,058	53,474
赤羽根保育園	92,316	28,000	921,043	54,179
若戸保育園	90,241	28,000	716,380	42,140
泉保育園	182,952	40,000	899,045	899,045
清田保育園	145,978	70,000	755,055	755,055
福江保育園	196,080	40,000	1,467,593	1,467,593
中山保育園	102,398	50,000	985,952	985,952
小中山保育園	970,083	45,000	906,865	906,865
伊良湖岬保育園	1,439,639	90,000	1,063,554	1,063,554
稲場保育園	191,469	80,000	1,551,879	1,551,879
田原児童センター	346,622	45,000	264,622	264,622
田原児童センター分館 (旧南部保育園)	98,912	75,000	655,639	655,639
田原市親子交流館	19,856	40,000	969,221	969,221
計	5,840,512	1,009,000	19,502,760	17,106,072

4 計画の推進

（１）推進体制等の整備

効果的な児童福祉施設の長寿命化計画を策定し、継続的に運用していくためには、児童福祉施設の実態把握やコストの算出、蓄積したデータベースの活用等に際し、一定の技術的知見が必要となり組織体制の充実を図ることが求められる。営繕担当部局との連携や、民間事業者への委託、研修等を通じた職員の知見の習得や意識啓発を行うなど体制の充実を図ります。

（２）フォローアップの体制

計画期間の範囲内であっても、定期的に計画の進捗状況等についてフォローアップを実施し、施設の老朽化に関する点検・評価の結果を踏まえて計画を見直します。

また、本計画は児童福祉施設の改修や建替えの方針及び概要を計画づけるものであり、田原市公共施設等総合管理計画のなかで平準化するなど、実施年次及び個別の事業費を精査するとともに、補助金、地方債などを積極的に活用していくこととします。計画に位置付けられた事業は、方針決定等の手続きを経て予算要求することとし、当該年度の予算査定において与えられた財源の中で確定するものとします。